

株式会社 **山善**

2019年3月期 **決算説明会**

2019年5月29日



代表取締役社長 社長執行役員 **長尾 雄次**

証券コード： 8051

AGENDA

- I. 第73期(2019年3月期)の概要
- II. 「**ONE**XT YAMAZEN 2018」の総括
- III. 新中期経営計画
「CROSSING YAMAZEN 2021」
- IV. 第74期(2020年3月期)の計画
- V. 株主還元

I . 第73期(2019年3月期)の概要

■ 連結損益計算書

(単位:百万円)	2018年3月期 (第72期)	2019年3月期 (第73期実績)	前年対比	公表計画	公表計画 対比%
売上高	497,963	526,364	106%	520,000	101%
売上総利益	63,516	69,626	-	-	-
(総利益率)	(12.8%)	(13.2%)	-	-	-
販売管理費	48,133	51,628	-	-	-
営業利益	15,383	17,997	117%	17,000	106%
(営業利益率)	(3.1%)	(3.4%)	(+0.3)	(3.3%)	(+0.2)
営業外損益	△231	△138	-	-	-
経常利益	15,152	17,859	118%	17,000	105%
特別損益	1,034	△11	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,205	12,184	119%	11,000	111%

➤ 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも過去最高

■ 事業別売上高／公表計画対比

(単位:百万円、%)	2018年3月期 (第72期)	2019年3月期 (第73期)	前年対比	公表計画	公表計画 対比%
機 械 事 業 部	166,251	171,250	103%	171,000	100%
機 工 事 業 部	182,558	199,426	109%	197,000	101%
(生産財ドメイン計)	348,810	370,676	106%	368,000	101%
住 建 事 業 部	58,415	58,965	101%	61,000	97%
家 庭 機 器 事 業 部	82,156	87,095	106%	88,000	99%
(消費財ドメイン計)	140,572	146,060	104%	149,000	98%
そ の 他 部 門	8,581	9,627	112%	3,000	321%
合 計	497,963	526,364	106%	520,000	101%

(単位:百万円、%)			2018年3月期 (第72期実績)	2019年3月期 (第73期実績)	前年対比
生	機械事業部	国内売上高	88,399	105,768	120%
		海外売上高	77,851	65,482	84%
		機械合計	166,251	171,250	103%
産	機工事業部	国内売上高	161,075	176,265	109%
		海外売上高	21,483	23,160	108%
		機工合計	182,558	199,426	109%
財	生産財合計	売上高	348,810	370,676	106%
		営業利益	13,010	15,543	119%
		営業利益率	3.7%	4.2%	(+0.5)
消	住建事業部	売上高	58,415	58,965	101%
		営業利益	1,422	1,532	108%
		営業利益率	2.4%	2.6%	(+0.2)
費	家庭機器部	売上高	82,156	87,095	106%
		営業利益	2,677	3,002	112%
		営業利益率	3.3%	3.4%	(+0.2)
財					

(単位:百万円)

機械事業の増益 1,707
 機工事業の増益 2,707
 住建事業の増益 148
 家機事業の増益 1,632
 その他 ▲85

売上総利益増加
 (増益要因)
+6,109

販管費増加
 (減益要因)
▲3,495

人件費関連の増加 ▲920
 運賃・保管料の増加 ▲1,014
 支払手数料の増加 ▲722
 広告宣伝費の増加 ▲344
 旅費交通費の増加 ▲129
 その他 ▲366

営業利益

前期比
+ 2,614
 (+ 17.0%)

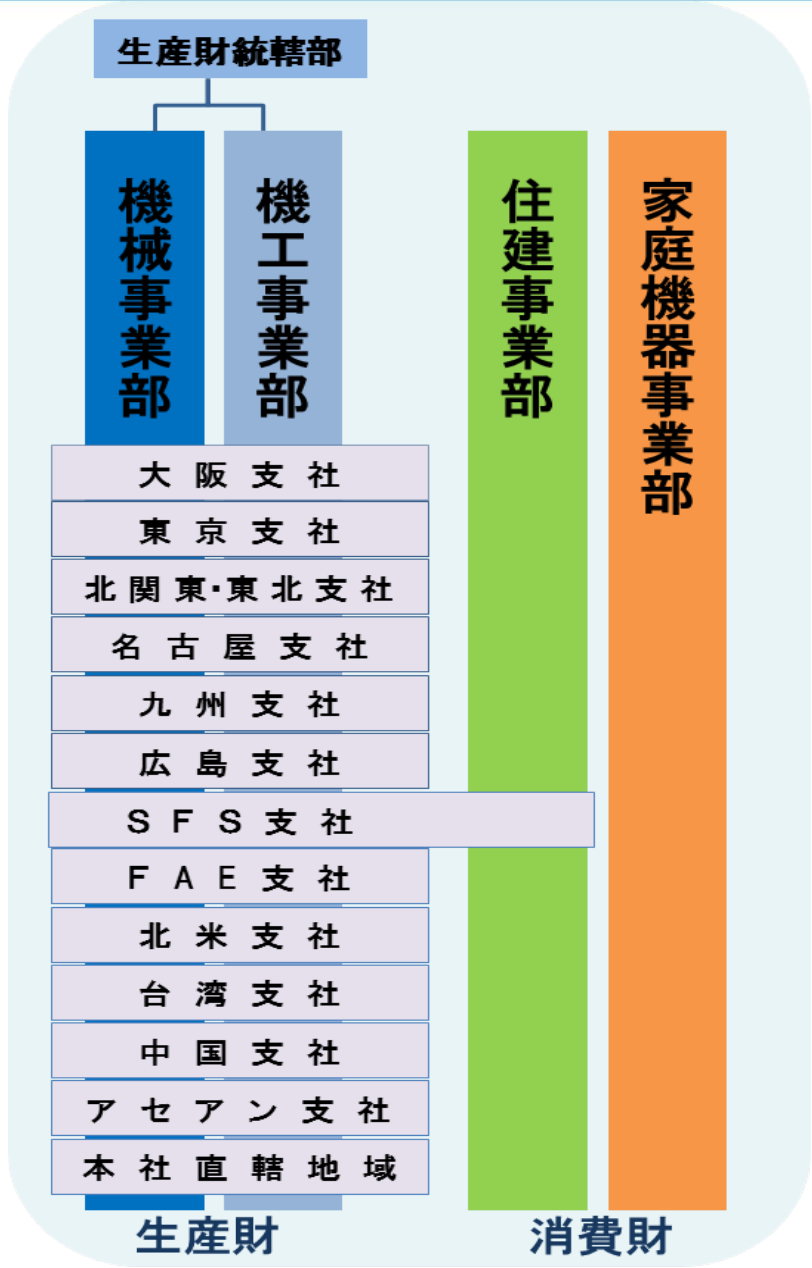
営業利益

15,383

17,997

2018年3月期

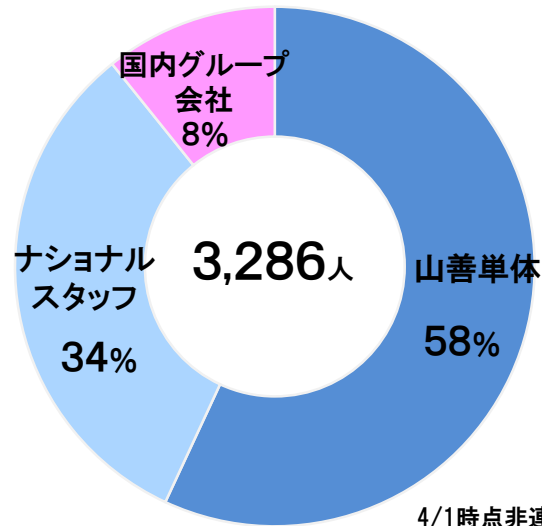
2019年3月期



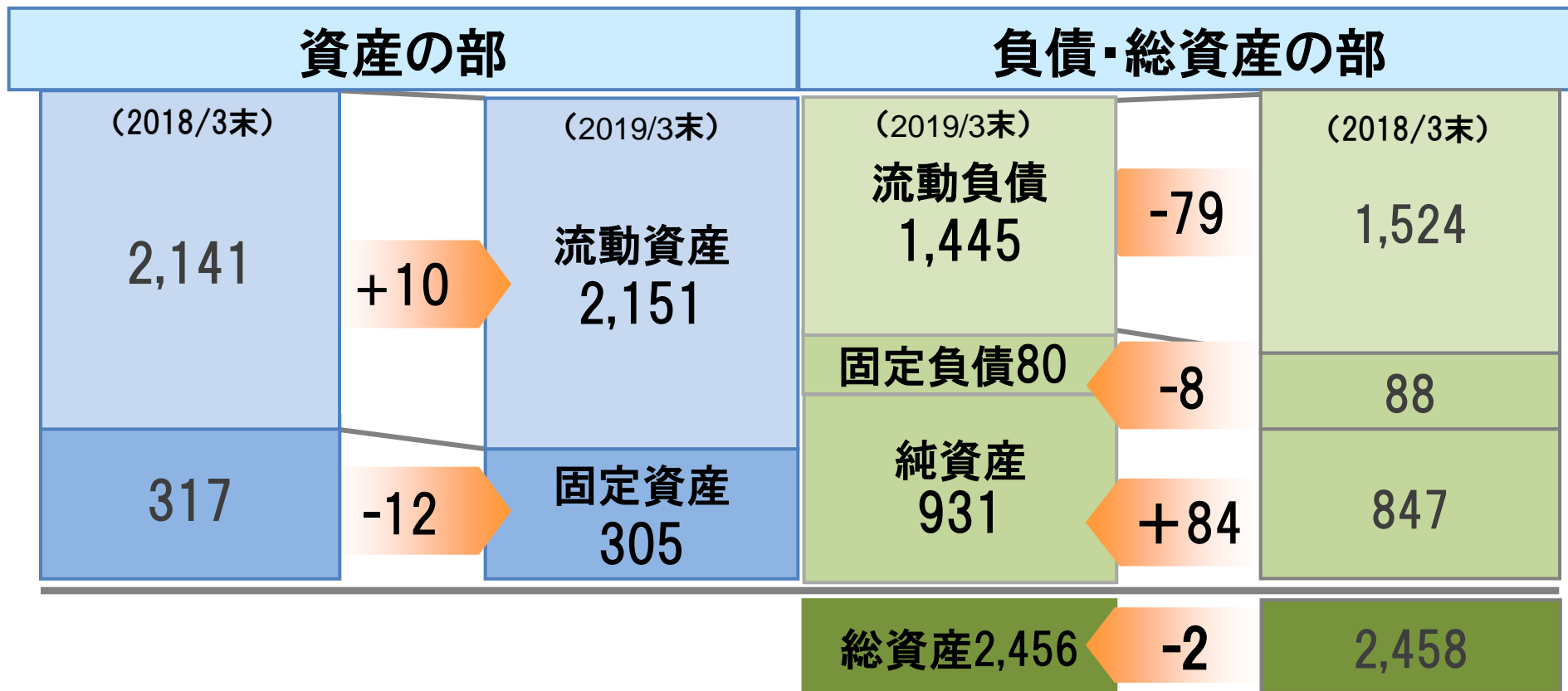
国内 8支社
53事業所
グループ会社7社

海外 4支社
16カ国 17現地法人
67拠点

人員構成比



➤ ROA 7.3% 総資本回転率 2.14回 キャッシュ・フロー・マージン率 2.9%



(単位:億円)

2018年3月末	項目	2019年3月末
34.3%	自己資本比率	37.8%
891.87円	1株純資産	980.69円
1,058億円	時価総額	1,112億円

※「ROA」は、総資産営業利益率を使用。
 キャッシュ・フロー・マージン率は、法人税等控除前の
 営業キャッシュフローを使用。

Ⅱ . 「ONEXT YAMAZEN 2018」の総括

■ 損益計画

(単位:百万円)	2016年3月期 (第70期実績)	2017年3月期 (第71期実績)	2018年3月期 (第72期実績)	2019年3月期 (第73期実績)	70期 対比	70期対比 増加額
売上高 (初期目標)	447,774	447,698	497,963	526,364	118%	78,590
営業利益	13,258	13,113	15,383	17,997	136%	4,739
営業利益率	3.0%	2.9%	3.1%	3.4%	(+0.5)	-
経常利益 (初期目標)	13,503	12,931	15,152	17,859	132%	4,356
親会社株主に 帰属する 当期純利益	9,192	8,518	10,205	12,184	133%	2,992

■ 主要財務指標

(単位:%)	2016年3月期 (第70期実績)	2017年3月期 (第71期実績)	2018年3月期 (第72期実績)	2019年3月期 (第73期実績)
総資産営業 利益率 (ROA)	6.5%	6.1%	6.6%	7.3%
総資本回転率	2.19回	2.09回	2.13回	2.14回
キャッシュ・フロー・マージン率	3.4%	2.5%	2.6%	2.9%

■ 事業別売上高推移

(単位:百万円、%)	2016年3月期 (第70期)	2017年3月期 (第71期)	2018年3月期 (第72期)	2019年3月期 (第73期実績)	70期 対比
機 械 事 業 部	-	134,886	166,251	171,250	-
機 工 事 業 部	-	167,301	182,558	199,426	-
(生産財関連計)	308,117	302,187	348,810	370,676	120%
住 建 事 業 部	56,419	58,171	58,415	58,965	105%
家庭機器事業部	75,169	79,151	82,156	87,095	116%
(消費財関連計)	131,589	137,323	140,572	146,060	111%
そ の 他 部 門	8,067	8,188	8,581	9,627	119%
合 計	447,774	447,698	497,963	526,364	118%

2016年4月 生産財事業を国内外で一本化、シームレスな組織体制へ

2017年4月 SFS営業本部(現SFS支社)を新設

東邦工業を買収

2018年4月 生産財統轄部を設置

F AE営業部(現F AE支社)を新設

北関東・東北支社を新設

東京支社を開設

営業本部を支社に改称し、支社と事業部の役割を明確化

3年連続「ジャパン・レジリエンス・アワード」受賞



高い耐震性・制震性と蓄電システムを装備したゼロエネルギー住宅「ZePlus」



ZePlus

Base for Life

BCPERS

ビーシーパーズ

[お問い合わせ](#)
代理店よりご連絡させていただきます。

[HOME](#)
[企業防災とは](#)
[BCP.ERSのご紹介](#)
[防災・事業継続対策商品一覧](#)
[導入事例](#)
[お問い合わせ](#)

企業防災を支える「BCP.ERS」で自然災害や人為災害に負けない組織作りを。

我々は「BCP.ERS」を通して、日本のモノづくりを支える中小企業を守ります。

ジャパンレジリエンス・アワード
3年連続受賞

BCPERS

ビーシーパーズ

BCP Effective Resilient Solution

BCP策定の全てをワンストップでサポート!

- BCPに関する調査票が届いた
- BCPの策定を求められている
- 自社の事業と組織規模に合った費用対効果の高いBCP対策を導入したい

↑これらに当てはまる方は今すぐボタンをクリック!

詳細はこちら

企業防災とは

災害被害を最小化する「防災」と、災害時の企業活動の維持または早期回復を目指す「事業継続」の2つのアプローチによる取り組みです。

防災・事業継続対策商品

水・食料、衛生用品、生活用品だけでなく、ユーティリティ設備の保全に必要な発電機やコンプレッサ、免振装置等をご提案いたします。

導入事例

「BCP.ERS」を実際にご利用頂き、ソフト面・ハード面の対策を含めた企業防災の取り組みを推進されている各企業様の事例をご紹介します。

BCP策定コンサルティングから設備機器や備蓄品等の導入に至るまでワンストップでサポートする「BCP.ERS」(ビーシーパーズ)

Ⅲ. 新中期経営計画

「CROSSING YAMAZEN 2021」

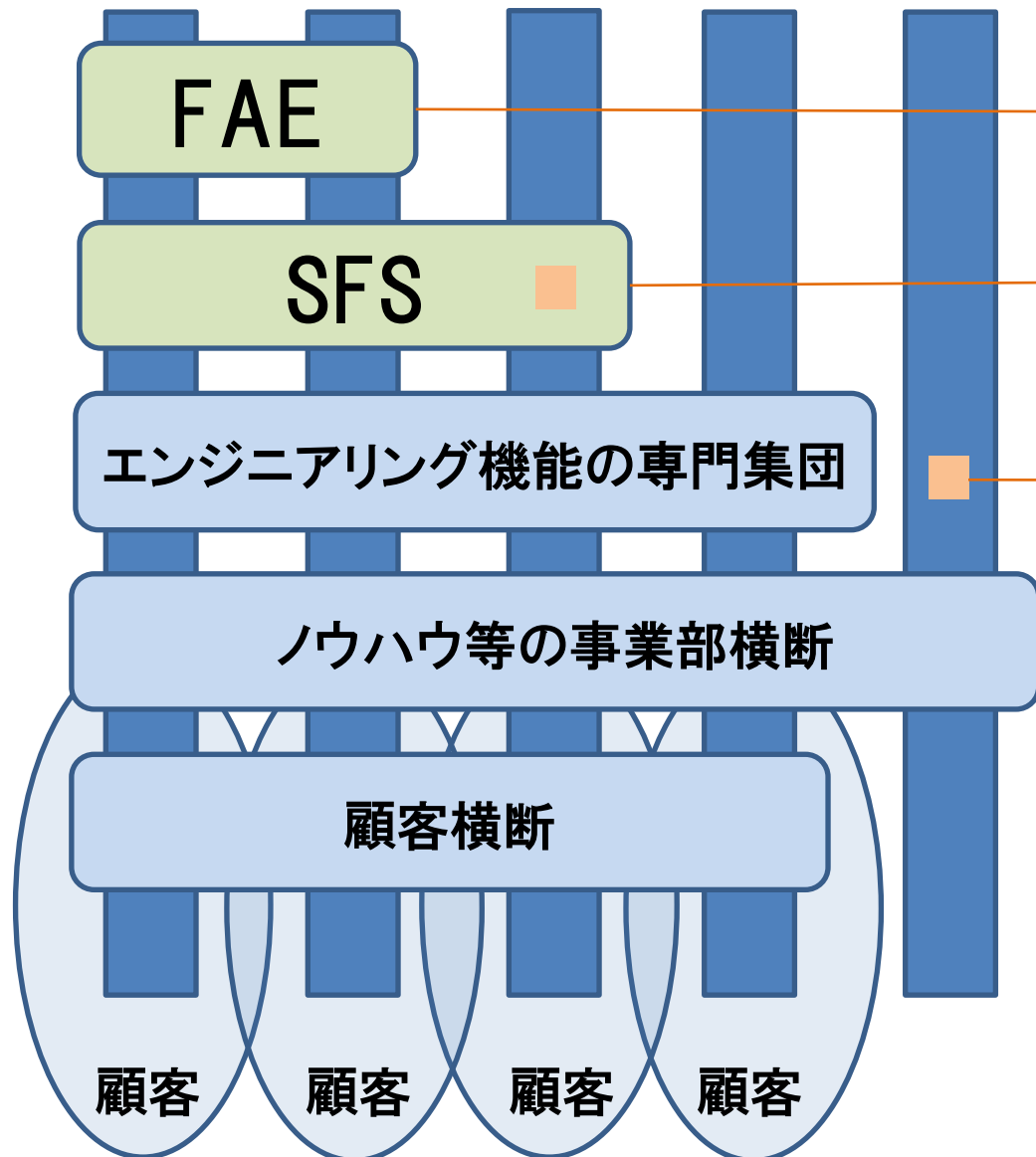
CROSSING YAMAZEN 2021



**事業ドメインの垣根を越え
ヒト、モノ、コト、情報をクロスさせて
新たな提供価値を生み出そう！**

機械 機工 住建 家庭機器 経営企画

2019年4月1日付機構改革



- FAE営業部を支社へ
- SFS支社に「建設・設備支店」を新設
- 経営企画本部に、物流部を新設

1. 国内事業の強化
2. グローバル展開の加速
3. 機能商社化による収益力強化
4. eコマースの拡充
5. 事業拡大を支える経営基盤の強化



主要
取り組み
テーマ

- 省人化・自動化ニーズへの対応強化

- 将来有望な市場の開拓・強化

- 電気自動車(EV)



- 食品、薬品、化粧品(三品市場)



- 農業



- 航空宇宙等



主要 取り組み テーマ



国内外から1,222社が出展したインド最大の機械工作展示会「IMTEX2019」に出展(1/24-30)



12社の協賛メーカー様の製品を展示し、盛況な当社ブース

- 成長市場の強化(インド等)
 - 拠点/テクニカルセンターの増設
- 自動化需要の取り込み
 - 自前で技術対応できる体制づくり、Slerとの提携
- 海外物流の整備による業務・物流の効率化
- 安全保障貿易に対応した輸出管理体制の強化

主要
取り組み
テーマ

- 省人化・自動化ニーズへの対応強化
 - エンジニアリング機能の強化、Slerとの提携
- エネルギーソリューション事業の強化
- 新経営基幹システムへの刷新
- デジタル営業支援ツールの活用



主要
取り組み
テーマ

- 家庭機器事業部のネット販売拡大
 - ユーザビリティ向上を通じた、ロイヤリティ獲得と維持
 - 専門店としての品揃え・付帯サービスの拡充
 - 新規(モール)出店



- 海外機工でのグローバルeコマースの検討
- 物流機能の強化

**主要
取り組み
テーマ**

- ERP等導入によるグローバルでのシステム統合

(単位:百万円)	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
	(第73期実績)	(第74期計画)	(第75期計画)	(第76期計画)
売上高	526,364	530,000	563,500	610,000
営業本部営業利益	20,562	20,560	23,330	28,340
営業本部営業利益率	(3.9 %)	(3.9 %)	(4.1 %)	(4.6 %)
連結消去	△2,565	△2,810	△2,980	△3,040
投資	-	△1,750	△2,850	△3,300
全社連結営業利益	17,997	16,000	17,500	22,000
全社連結営業利益率	(3.4 %)	(3.0%)	(3.1%)	(3.6%)
経常利益	17,859	16,000	17,500	22,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,184	11,000	12,000	15,000

・今後5年間の投資予算枠

事業投資枠(アライアンス含)	200億円	事業承継 M&A 新規事業等
初期システム投資枠	100億円	新システム初期構築費用
設備投資枠	300億円	物流整備等
合計	600億円	

・主要財務指標(計画)

	2019年3月期 (第73期実績)	2020年3月期 (第74期)	2021年3月期 (第75期)	2022年3月期 (第76期)
総資産営業利益率 (ROA)	7.3%	6.6%	6.5%	7.5%
総資本回転率	2.14回	2.17回	2.09回	2.08回
キャッシュフロー・ マージン率	2.9%	3.2%	3.0%	3.5%

社会の課題

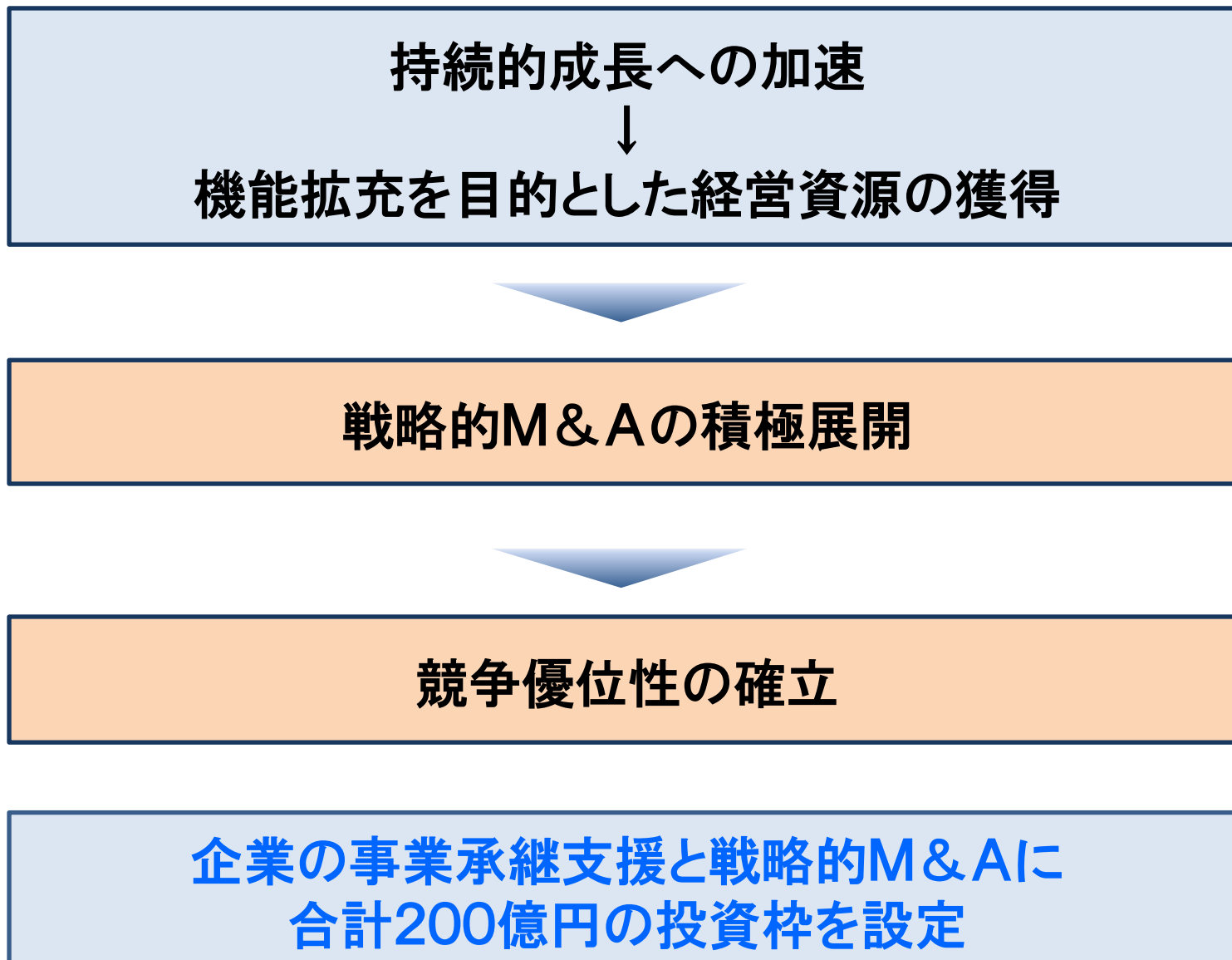
少子高齢化問題の影響により、
後継者不在による事業承継問題が深刻化



貴重な業界の財産を失う恐れ

企業の事業承継支援に
「100億円の投資枠」を設定

事業承継支援による業界への貢献



初期システム投資 100億円

経営の全体最適

業務改善

SAP導入によりグローバルな社内情報を一元管理

ERP

経営情報の可視化/共有

経営・社内情報を全社視点で捉え、業務の無駄を排除し、効率化と工程を削減

業務プロセスの見直し

業務の標準化と集約化による全体最適

BPR

Business Process Re-engineering

生産性向上と収益の拡大

仕事のやり方・働き方の見直しによる効率的な事業運営

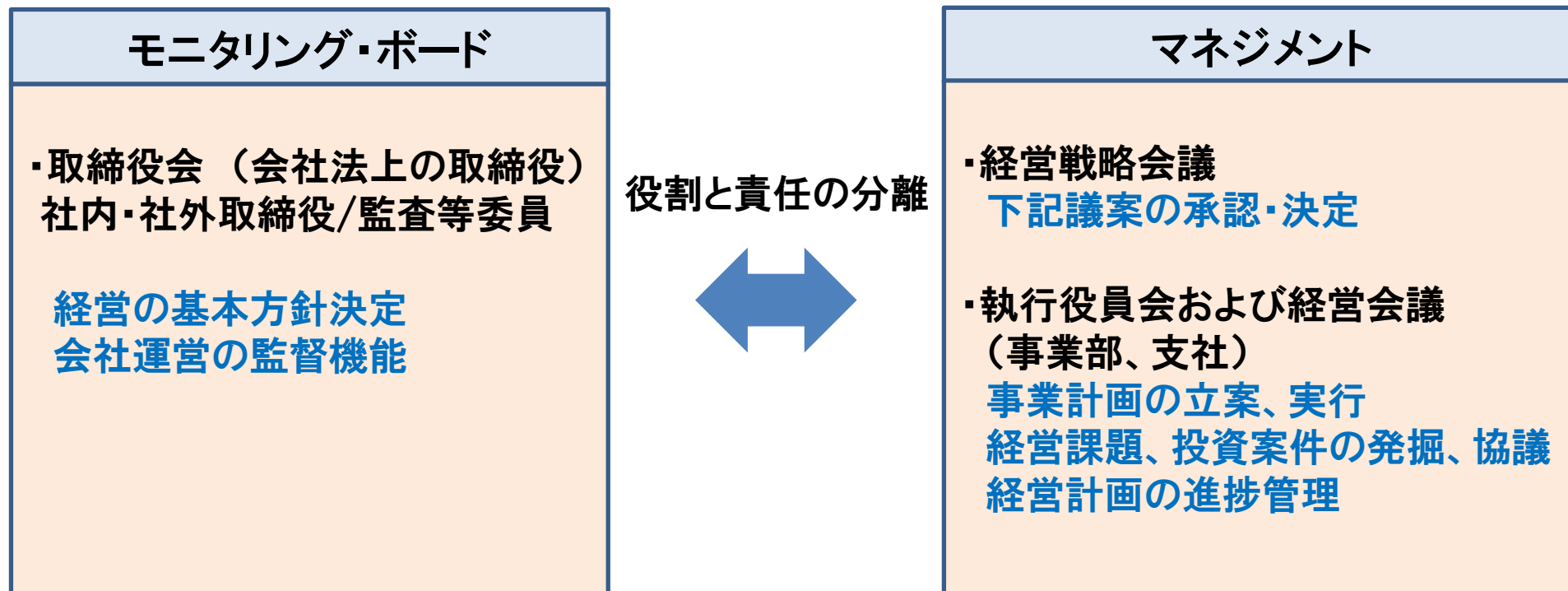
強化領域へのリソースシフト

物流投資 300億円

- 事業を支える全社SCM機能の整備



目的：持続的な利益成長である「稼ぐ力」の増強



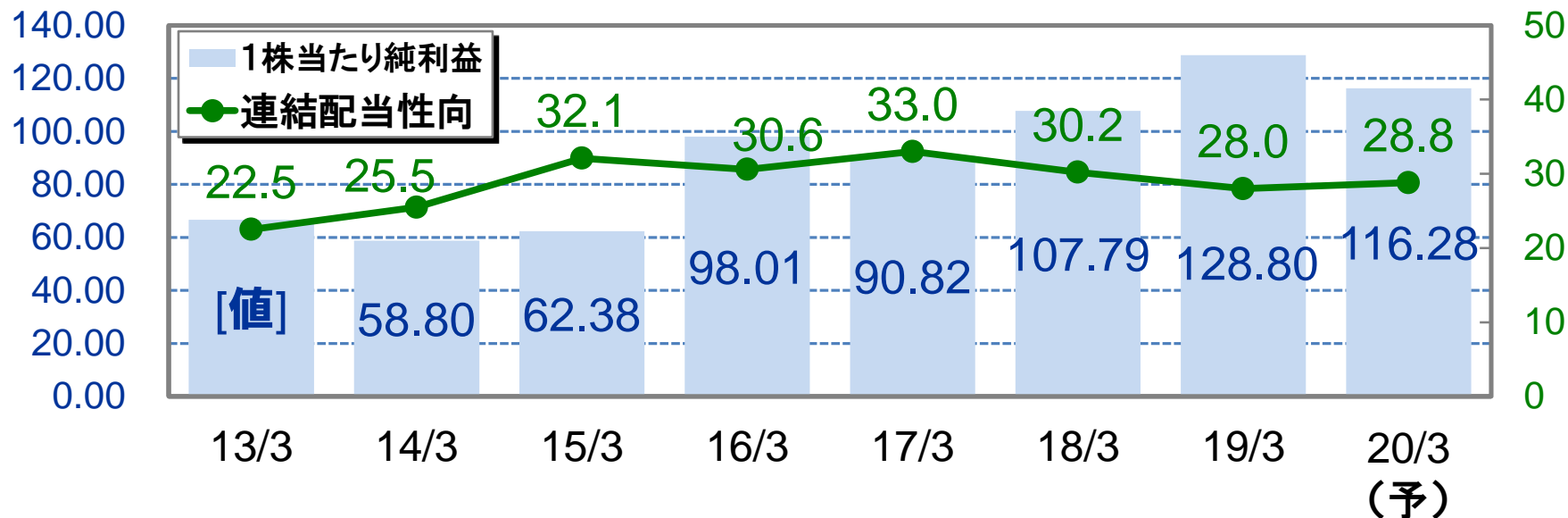
IV. 第74期(2020年3月期)の計画

(単位:百万円)	2019年3月期(第73期)		2020年3月期(第74期)			
	2Q実績	通期実績	2Q計画	前年対比	通期計画	前年対比
売上高	262,263	526,364	253,000	96.5%	530,000	100.7%
営業利益	8,531	17,997	6,800	79.7%	16,000	88.9%
(営業利益率)	3.3%	3.4%	2.7%	(△0.6)	3.0%	(△0.4)
経常利益	8,555	17,859	6,800	79.5%	16,000	89.6%
親会社株主に帰属 する 当期純利益	5,703	12,184	4,700	82.4%	11,000	90.3%

(単位:百万円、%)			2020年3月期 (第74期計画)	前年対比
生	機 械 事 業 部	国 内 売 上 高	103,000	97%
		海 外 売 上 高	58,000	89%
		機 械 合 計	161,000	94%
産	機 工 事 業 部	国 内 売 上 高	181,500	103%
		海 外 売 上 高	23,000	99%
		機 工 合 計	204,500	103%
財	生 産 財 合 計	売 上 高	365,500	99%
		営 業 利 益	15,200	98%
		営 業 利 益 率	4.2%	(±0)
消	住 建 事 業 部	売 上 高	64,000	109%
		営 業 利 益	1,600	104%
		営 業 利 益 率	2.5%	(△0.1)
費	家 庭 機 器 部	売 上 高	90,000	103%
		営 業 利 益	3,250	108%
		営 業 利 益 率	3.6%	(+0.2)
財	消 費 財 合 計	売 上 高	154,000	105%
		営 業 利 益	4,850	107%
		営 業 利 益 率	3.1%	(±0)

V. 株主還元

➤ 前3カ年中期経営計画における連結配当性向 3年平均で30.1%



■ 配当金の推移

※当期 特別配当3円50銭 増配

		'13/3	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3	'19/3	20/3 (予)
配当金額 (円)	中間	7.0	7.0	8.0	12.0	*13.5	13.0	15.0	16.0
	期末	8.0	8.0	12.0	*18.0	*16.5	*19.5	*21.0	17.5
	年間	15.0	15.0	20.0	*30.0	*30.0	*32.5	*36.0	33.5

*は特別配当、記念配当を含む

変化対応業

不易流行

経営理念

人づくりの経営

人を活かし 自業員を育成する

切拓く経営

革新と創造に挑戦する

信頼の経営

期待に応え 社会に貢献する